

板柳地区消流雪用水導入事業の紹介

事業概要

我が国の国土の50%以上を占める豪雪地帯においては、1日に数10cmの積雪は珍しくなく、大量の積雪によって家屋や宅地で頻繁に除雪作業を強いられるとともに道路交通を著しく阻害するなど、地域住民の生活に大きな支障をきたしています。

消流雪用水導入事業は、このような豪雪地帯を対象として冬期間においても安全で快適な生活を営むことができるように、水量の豊富な河川から市街地を流れる中小河川等に消流雪用水を供給する導水路等の整備を行うもので、平成16年度から青森県板柳地区において、国土交通省直轄事業として実施しています。

板柳地区消流雪用水導入事業（以下、本事業）は、板柳町の市街地を流下する3系統の中小河川【足水川(上流部)、川端川・土井川(下流部)】近くに、岩木川を水源とする取水施設及び導水施設を整備し、総事業費約15億円をもって、板柳町中心市街の130haを除排雪対象として消流雪用水を供給します。

岩木川からは、最大毎秒1.5m³の消流雪用水を岩木川中流部板柳町大字板柳字岡本地先より0.97m³（上流部）、同川面地先より0.53m³（下流部）それぞれ導水し、中小河川を通じて、板柳町の公共下水道事業や青森県の凍雪害防止事業で整備された流雪・融雪溝に通水する事によって、町民の除排雪作業に利活用されるものです。

国土交通省が実施した本事業は、今年度（平成19年度）をもって完成することから、町内における融雪溝の整備状況に即した運用を行うものとして、川端川と土井川へ消流雪用水を試験的に供給します。足水川を含む地区全域への導入は、板柳町が実施している水路整備に併せ、来年度（平成20年度）からとなり、実現すべき消流雪効果が発揮可能となります。

取水量の調節及び用水の利用管理は、役場町庁舎内に設置する操作室から、テレビ等で確認しつつ、遠隔操作することになります。

事業概要

年 度	事 業 費	内 容
H16～H19	15億円	揚 水 機 場 2箇所 導 水 路 2箇所 附帯（管理）施設 1式